

オーバルネクストETF情報

2011年4月4日号



TEL 03(5641)5777

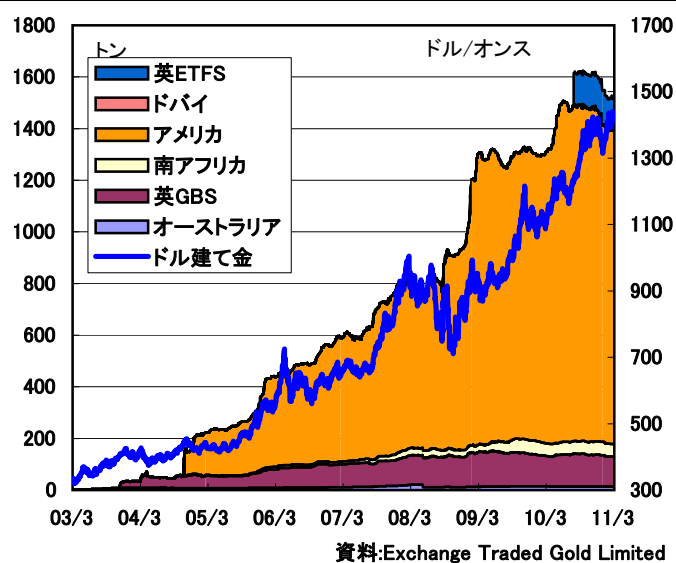
(株) オーバルネクスト
〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町 7-2

弊社ホームページで本レポートを無料公開中
<http://www.ovalnext.co.jp/>

 **Oval Next Corp.**

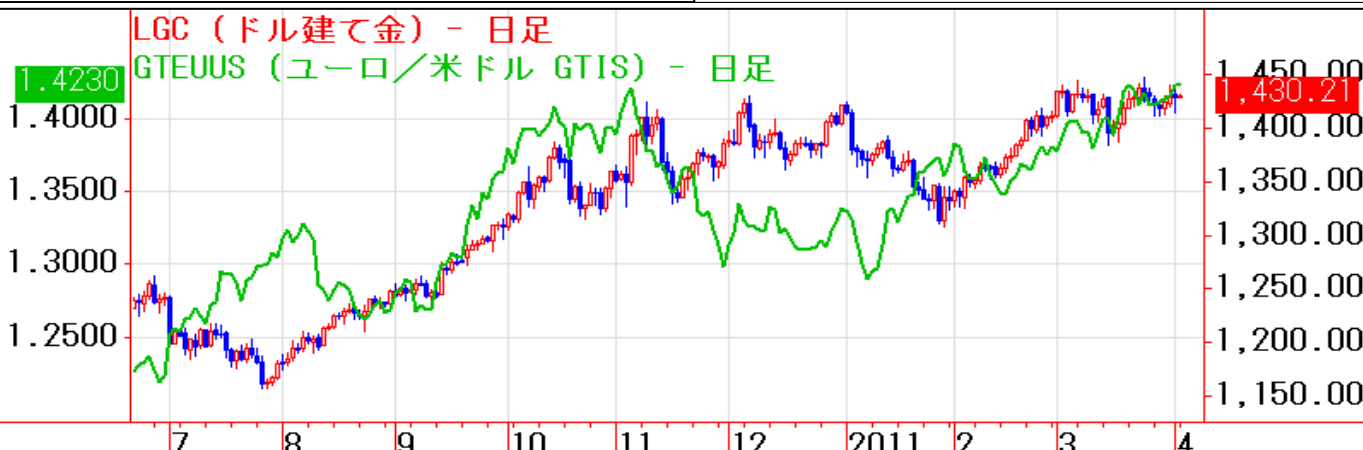
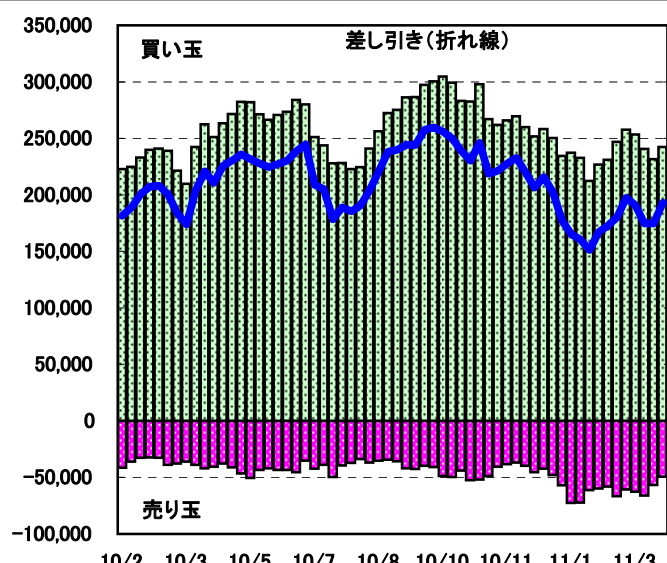
ETF残高は減少、先物買いは拡大

●金ETFの現物保有高



●大口投機家の取組=CFTC・NY金

単位: 枚



■金はECB理事会などに注目

米商品先物取引委員会(CFTC)の建玉明細報告によると、3月29日時点のニューヨーク金の大口投機家の買い越しは19万3,121枚となり、前週の17万4,837枚から拡大した。今回は新規買いが1万0,831枚、買い戻しが7,453枚入り、買い越しを1万8,284枚拡大した。一方、1日のニューヨークの金ETF(上場投信)の現物保有高は前週末比2.73トン減の1211.23トンとなった。金価格はドル安や原油高などを受けて上昇したが、米国の金融緩和終了の見方などを背景に戻り場面で売られた。

ドル建て現物相場は、2010年12月7日に1430.09ドルまで上昇した。欧州の債務不安に加え、バーナンキ米連邦準備理事会(FRB)議長が量的緩和を拡大する可能性を示唆したことなどが支援要因になった。プッシュ減税の延長合意をきっかけに国債増発懸念が出て長期金利が上昇すると、調整局面を迎えた。その後は欧州の債務不安の再燃などが下支えになると、ドル安などに支援されて約1カ月ぶりの高値1423.32ドルを付けた。ただ年明け後は米景気回復期待や中国の利上げなどを受けて再び調整局面を迎え、1月28日に昨年10月1日以来の安値1308.12ドルを付けた。2月に入ると、エジプトの政情不安や世界的なインフレ懸念を受けて反発し、リビア情勢の緊迫化や原油急騰を受けて3月7日に史上最高値を更新した。その後は日本の原発事故をきっかけに株価が急落し、換金売りに圧迫される場面も見られたが、原油高などに支援されて3月24日に史上最高値1447.29ドルを付けた。

米国の金融緩和終了の見方が強まったことを受けて下落する場面も見られたが、欧州中央銀行(ECB)の利上げ見通しによるユーロ高や、ユーロ圏の債務問題に対する懸念、中東・北アフリカ情勢に対する懸念を背景とした原油高などに支援されて堅調となった。米雇用統計が好調な内容となり、上値を抑える要因だが、ユーロ高や原油高が続くと、再び上値を試す可能性もある。今週のECB理事会では利上げが見込まれており、ユーロ高が進むと、金の支援要因になりそうだ。

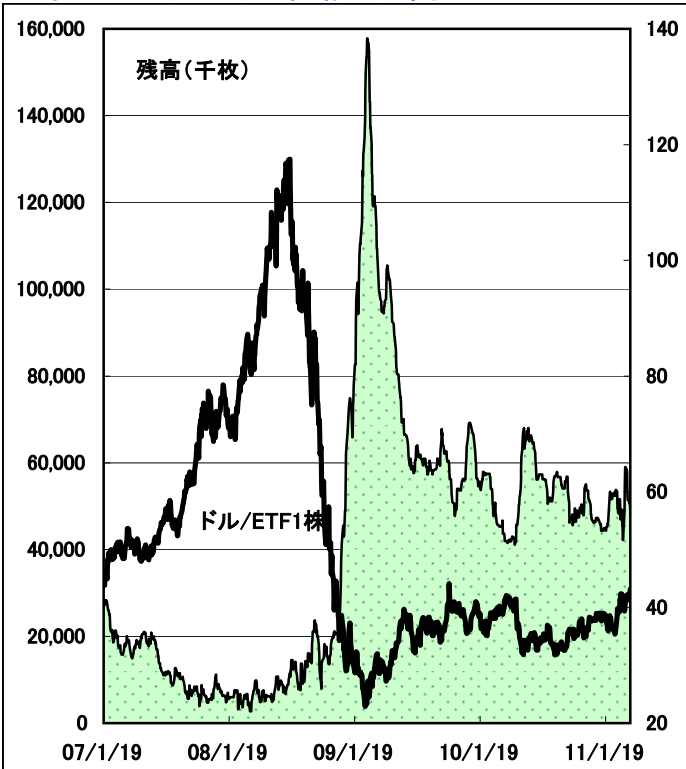
(オーバルネクスト 東海林勇行/4月4日記)

<免責事項>

オーバルネクストは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終決定はご自身の判断で行いますようお願いいたします。また掲載している情報の正確性については万全を期してはおりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、当社は利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、当社が提供するすべての情報について、当社の許可なく転用・販売することを固く禁じます。

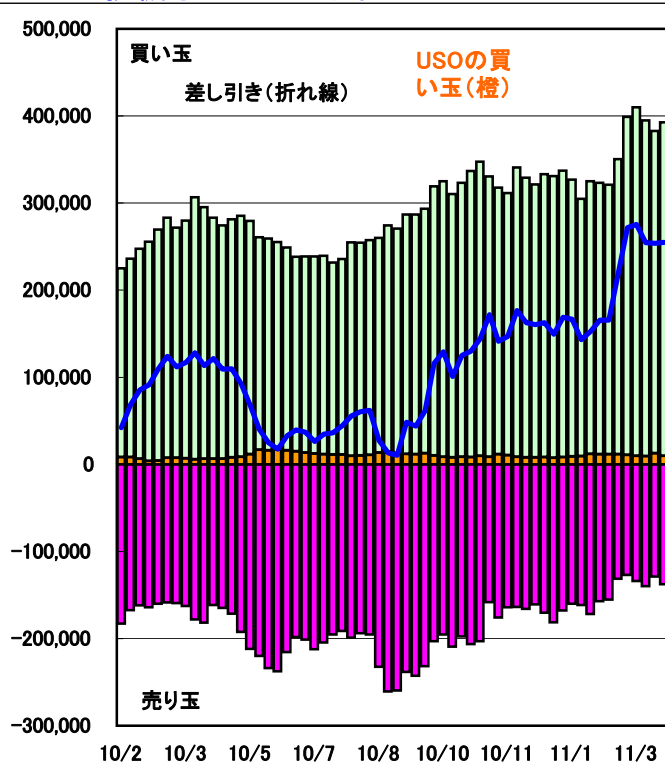
ETF残高減少、NY先物買いは拡大

●原油ETF(USO)の価格と残高



●大口投機家とUSOの取組

単位:枚



■最近の動向と材料

ニューヨーク証券取引所(NYSE)で取引されている原油ETF(コード:USO)の残高は4月1日時点で4,810万株となり、前週末比330万株減少した。ニューヨーク原油は中東・北アフリカ情勢に対する懸念などを受けて2008年9月以来の高値108.47ドルを付けた。USOが先物市場につないでいる原油の買い玉は1日時点でニューヨーク・マーカンタイル取引所(NYMEX)で8,821枚(前週末比1,320枚減)、Financial Futureが2,000枚(同変わらず)、インターコンチネンタル取引所(ICE)で8,400枚(同変わらず)となっている。

米商品先物取引委員会(CFTC)建玉明細報告によると、3月29日時点のニューヨーク・マーカンタイル取引所(NYMEX)の原油の大口投機家の買い玉は39万2,867枚(前週38万2,740枚)、売り玉は13万7,973枚(同12万9,012枚)で25万4,894枚の買い越しとなり、前週の25万3,728枚の買い越しから1,166枚買い越し幅を縮小した。USOの買い玉は大口投機家の2.5%(同3.4%)を占めている。インターコンチネンタル取引所(ICE)のWTI原油の大口投機家の取組は、買い玉が5万1,004枚(同5万0,041枚)、売り玉は2万1,532枚(同2万3,422枚)で2万9,472枚買い越し(同2万6,619枚買い越し)に拡大した。USOの買い玉は大口投機家の16.5%(同16.8%)を占めている。

【原油ETF残高と先物ポジション】

	United States Oil Fund, LP			先物ポジション			
	終値	出来高	残高	NYMEX	Financial Future	ICE	限月
11/3/28	41.42	12,242,192	51,400	10,141	2,000	8,400	11/5
11/3/29	41.83	7,886,387	50,600	9,821	2,000	8,400	11/5
11/3/30	41.66	6,973,960	50,600	9,821	2,000	8,400	11/5
11/3/31	42.60	13,211,865	50,800	9,901	2,000	8,400	11/5
11/4/1	43.17	15,022,401	48,100	8,821	2,000	8,400	11/5

単位:残高は千株

資料:NYSE、USO

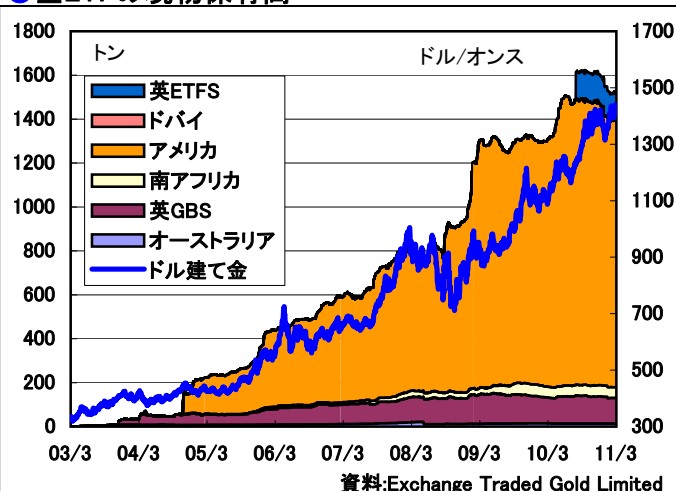
(オーバルネクスト 東海林勇行/4月4日記)

<免責事項>

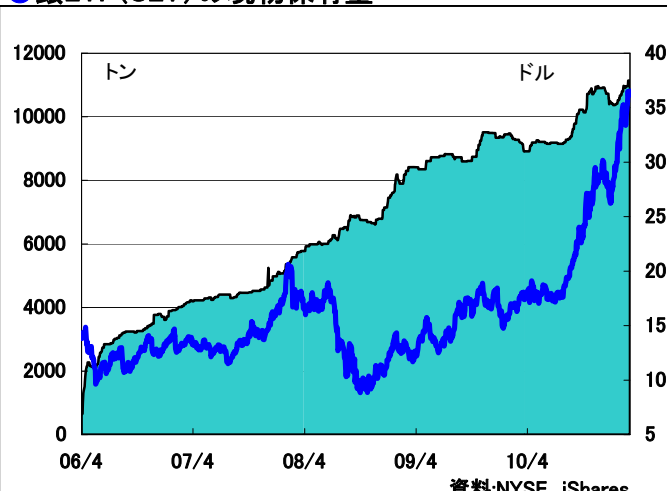
オーバルネクストは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終決定はご自身の判断で行いますようお願いいたします。また掲載している情報の正確性については万全を期してはおりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、当社は利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、当社が提供するすべての情報について、当社の許可なく転用・販売することを固く禁じます。

金ETF残高は減少

●金ETFの現物保有高



●銀ETF(SLV)の現物保有量



■最近の動向と材料

世界13カ国に上場している金ETF(上場投資信託)の現物保有高は、3月30日時点で1513.83トンとなり、前週末比1.96トン減少した。英ETFで1.62トン増加したが、ニューヨークで2.12トン、英GBSで1.21トン、南アで0.25トン減少した。リビアの原油輸出再開見通し、欧州中央銀行(ECB)の来月利上げ見通し、米金融緩和終了の見方が出たことが売り要因となった。ただS&Pのポルトガル・ギリシャ格下げなどが下支え要因となった。

ニューヨーク証券取引所(NYSE)の銀ETF(コード:SLV)の現物保有量は前週末比変わらずの1万1139.52トンとなった。ETFセキュリティーズの銀ETFの現物保有量はロンドン(コード:PHAG)が同変わらずの919.37トン、ニューヨーク(コード:SIVR)が同変わらずの569.55トンとなった。欧米の金融引き締めの見方が出たが、株価が堅調に推移し、金銀比価が低下した。またゴールド・フィールズ・ミネラル・サービスズ(GFMS)が工業用需要の増加見通しを示した。

【金ETF現物保有量詳細】

	豪州	英GBS	英ETFs	南ア	米国	ドバイ	合計	金現物相場
11/03/24	14.21	116.51	122.56	48.40	1213.96	0.15	1515.79	1,432.25
11/03/25	14.21	116.51	122.56	48.40	1213.96	0.15	1515.79	1,429.80
11/03/28	14.21	116.51	122.56	48.40	1211.84	0.15	1513.67	1,422.45
11/03/29	14.21	116.51	122.56	48.15	1211.84	0.15	1513.42	1,419.45
11/03/30	14.21	115.30	124.18	48.15	1211.84	0.15	1513.83	1,424.10

単位:トン、現物相場はドル/オンス

注:他の金ETFはIshare TRUST GOLD(30日現物保有は124.93トン)、米ETFセキュリティーズ(29日27.98トン)、チューリッヒ・カントナル・バンク(25日189.61トン)など。

資料: Exchange Traded Gold Limited

【銀ETF(NYSE:コードSLV)】

	銀ETF価格	出来高	現物保有量
11/03/24	36.12	55,003,510	11,139.5
11/03/25	36.39	33,975,599	11,139.5
11/03/28	36.19	20,868,536	11,139.5
11/03/29	36.17	16,085,577	11,139.5
11/03/30	36.53	28,552,232	11,139.5

単位: 価格はドル/ETF、現物保有量はトン

資料: NYSE, iShares

注:他の銀ETFはETFセキュリティーズ(ロンドン 30日919.37トン、NY 29日569.55トン)、チューリッヒ・カントナル・バンク(25日2,367.94トン)。

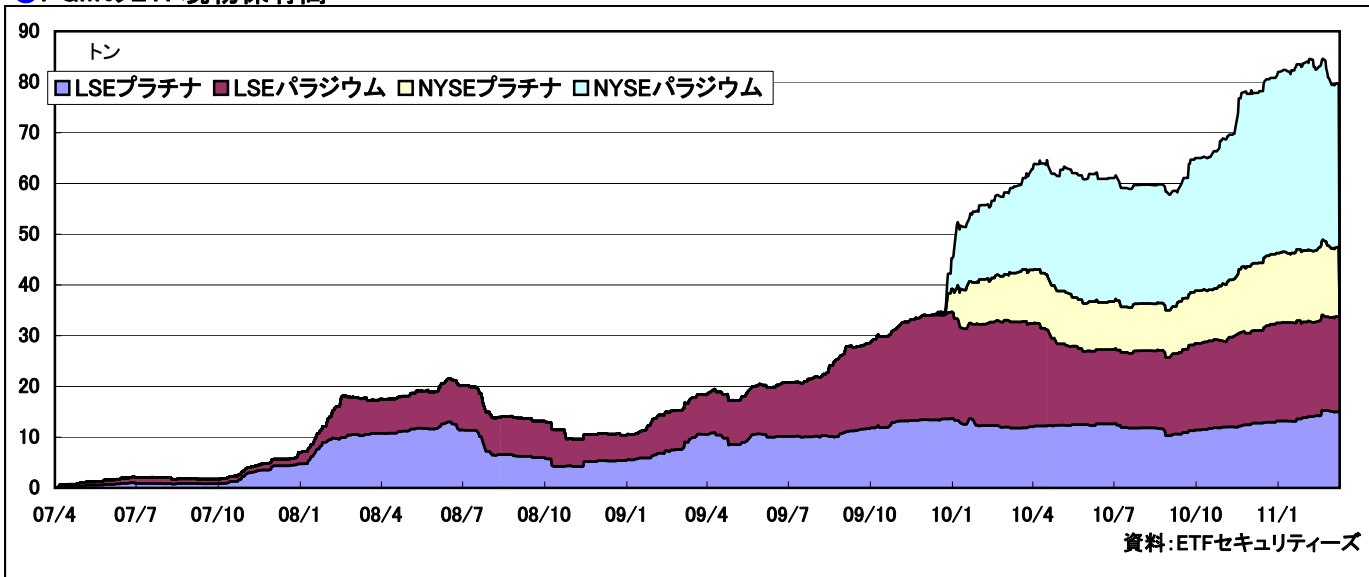
(オーバルネクスト 東海林勇行/3月31日記)

<免責事項>

オーバルネクストは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終決定はご自身の判断で行いますようお願いいたします。また掲載している情報の正確性については万全を期してはおりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、当社は利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、当社が提供するすべての情報について、当社の許可なく転用・販売することを固く禁じます。

ロンドンのプラチナ・パラジウムETFの現物保有高は増加

●PGMのETF現物保有高



■最近の動向と材料

ロンドン証券取引所(LSE)に上場しているプラチナ・パラジウムのETFの現物保有量(メタルセキュリティーズ分)は30日時点でプラチナが15.00トン、パラジウムが18.75トンとなった。23日からプラチナが0.02トン、パラジウムは0.03トン増加した。日本の震災による部品不足などで自動車生産が遅れたが、株価堅調などでリスク選好の動きから買いが入った。LSEのプラチナは2008年7月に13.01トンまで増加したのち、自動車販売減少や景気後退による需要減少懸念などを背景に売られて減少した。ただ欧米の金融危機対策などをを受けて2008年11月下旬の4.19トンを底にして再び買われた。パラジウムは2008年7月の8.84トンをピークに減少したが、2009年1月後半の4.98トンを底にして再び買われて昨年9月以降に急増した。2010年3月に過去最高21.09トンを記録したのちは景気回復の勢いの衰えなどをを受けて減少したが、6月の14.39トンを底にして再び買われた。

一方、ニューヨーク証券取引所(NYSE)のプラチナ・パラジウムETFの現物保有高は29日時点でそれぞれ13.75トン、32.28トンとなった。23日からプラチナは0.16トン増加、パラジウムは横ばいとなった。

【ETFセキュリティーズ】

	ロンドン証券取引所(LSE)				NY証券取引所(NYSE)	
	プラチナ	パラジウム	銀	金	プラチナ	パラジウム
11/03/24	14.91	18.55	919.37	132.17	13.59	32.28
11/03/25	15.00	18.75	919.37	132.47	13.59	32.28
11/03/28	15.00	18.75	919.37	132.53	13.75	32.28
11/03/29	15.00	18.75	919.37	132.62	13.75	32.28
11/03/30	15.00	18.75	919.37	132.77		

単位:トン

注:プラチナ・パラジウムETFは他にスイスのチューリッヒ・カントナル・バンクが販売。25日はそれぞれ11.38トン、13.77トン。

資料:ETFセキュリティーズ

(オーバルネクスト 東海林勇行/3月31日記)

<免責事項>

オーバルネクストは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終決定はご自身の判断で行いますようお願いいたします。また掲載している情報の正確性については万全を期してはおりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、当社は利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、当社が提供するすべての情報について、当社の許可なく転用・販売することを固く禁じます。